

キヤノン用 ヘッドクリーニング液 顔料用・染料 使用手順書

印字がされない、インクが出ない場合の基本チェックを行っていただいた後ヘッドクリーニングをメーカー推奨回数行ってもクリアされない場合、以下の方法をお試しください。

クリーニング液はインクの溶剤です。正しく使用すればクリーニング液でプリンタが故障することはありません。

【 水洗い有りの方がより洗浄効果が発揮できます 】

「クリーニング液のみによる洗浄」と「水洗いを伴うクリーニング液による洗浄」の2種類がございます。どちらのクリーニングもヘッドをとりはずして行うため、長時間プリンタが使えなくなります。

ですので、どうせクリーニングをするのであれば徹底的に行う「水洗い+クリーニング液」での洗浄をおすすめします。(水洗いに抵抗がある場合はクリーニング液のみでの洗浄・下記 から開始してください)

プリンタヘッドの水洗いとキヤノン用クリーニング液による洗浄

キャリッジがきっちり入る大きさで、内側底が平らの灰皿や小鉢など水が溜まる入れ物を用意しておきます。

キャリッジをはずし流水でヘッドメッシュ部にあたるよう充分流し続けます。この後に行うクリーニング液による洗浄効果を高めます。(手でヘッドをこすったりしないでください、水の流れてインクを洗い流す作業です)

水洗いが不十分だと入り口がキレイになったように見えても水から引き上げて数秒後や、少し放置してみると中に溜まっていたインクが上のメッシュ部分および底裏面のインク吹き出し口から滲み出てきます。

入り口メッシュ部分および吹き出し口からインクの滲みが無い事を確認出来ましたら、水洗いは終了です。キャリッジをふって水をきり自然乾燥させてください。タオル、紙、ドライヤーなどは使わず乾燥させてください(クリーニングしたい部分は入り口や吹きつけ口というより、むしろ中の通路部分です。しかし通路部分は直接水洗い出来ませんので不十分な洗い方だと中に残ったインクが後から滲み出てきます。)

株式会社デジタルトレンド



可能であれば、水の出方をストレートではなく、シャワーにしてください。

株式会社デジタルトレンド



株式会社デジタルトレンド



株式会社デジタルトレンド



水から引き上げると、このように残っているインクが滲みでてきます。

ただし 30分以上水洗いを行ってもインクの滲みが発生する場合はいったん引き上げ、次の からのクリーニング液による洗浄に移ってください。

少し陰干して水気を取ったら、再びヘッドがまっすぐ置ける大きさの灰皿や小鉢容器に置き
各色ヘッドメッシュ部分にクリーニング液をまんべんなくかけてゆきます。
特に入り口部分にただひっかけるのではなく、入り口周りの囲い部分ぎりぎりまで溶剤を満たしてください。
(揮発してヘッドメッシュ部が出てきた場合はつぎたします。入れ物の底にも液を少し入れるとより効果的
です)



出来れば一日溶剤に付けておきます。(溶剤ですので換気を行ってください)
ふりかけたクリーニング液が短時間(数分から数十分)でメッシュを通過するようであれば完全に通っ
ている証拠です。

通過するかどうかこまめに確認してください。そのため出来れば夜間ではなく朝から開始した方が良
いでしょう。

色によって通るまでにかかる時間が異なります。通っていない色の部分には引き続き液をかけます。
顔料[3eBK、9BK、320BK など]部分が通るようになるまでに2、3日要した例があります)

何時間経過しても特定の色についてメッシュを通過しないようであれば、再度水洗いを行います。
その後またクリーニング液を浸す手順を繰り返します。(入れ物も洗ってきれいにしてください)

作業が完了しましたら、さっと水で洗い流して陰干しします。
水気が取れましたらプリンタに戻し、自動的に行われるインク充填等とは別に手動で一度プリンタプロパ
ティからのクリーニングを行ってください。
(純正インク使用時にも発生するヘッドメッシュ部等の物理的な傷(俗に言うヘッド部分のつぶれなど)が
ある場合はその傷による印刷のみだれは残念ながら治りません)

水洗い、処置後のキャリッジは必ず陰干し等自然乾燥を行ってください。

タオルや紙は繊維がひっかかりノズル詰まり以外の原因でヘッドが駄目になります。

クリーニング液による洗浄作業を数回行っても「ほとんどインクが出ない」場合は、プリンタヘッドの詰ま
りが原因ではなく、キャリッジの駆動モーターや制御基盤の不具合など元々ハード的要因である可能性が
高いです。



非常に細いインク通路